

河内長野市

河内長野市民大学『くろまる塾』

～生涯学習のしくみ～

はじめに

河内長野市では、平成22年3月に教育立市宣言を行い、その施策のひとつとして、「生涯学習のまち河内長野」を掲げ、平成23年6月には、市民の皆様の生涯学習の中心として、河内長野市民大学『くろまる塾』を開校しました。『くろまる塾』とは、「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも・みずから」自分にあった学びを見つけ、私たちの地域社会のため、生涯にわたって学習を継続できるよう、様々な学習の場を提供するものです。

くろまる塾のマスコット「くろまる博士」



認定講座には公益性が高いものや健康増進につながるもの、社会貢献のための人材育成、地域づくりを目指す講座等を認定しており、市広報等で、情報発信をしています。

また、講座を受けて終わりではなく、市民のみ

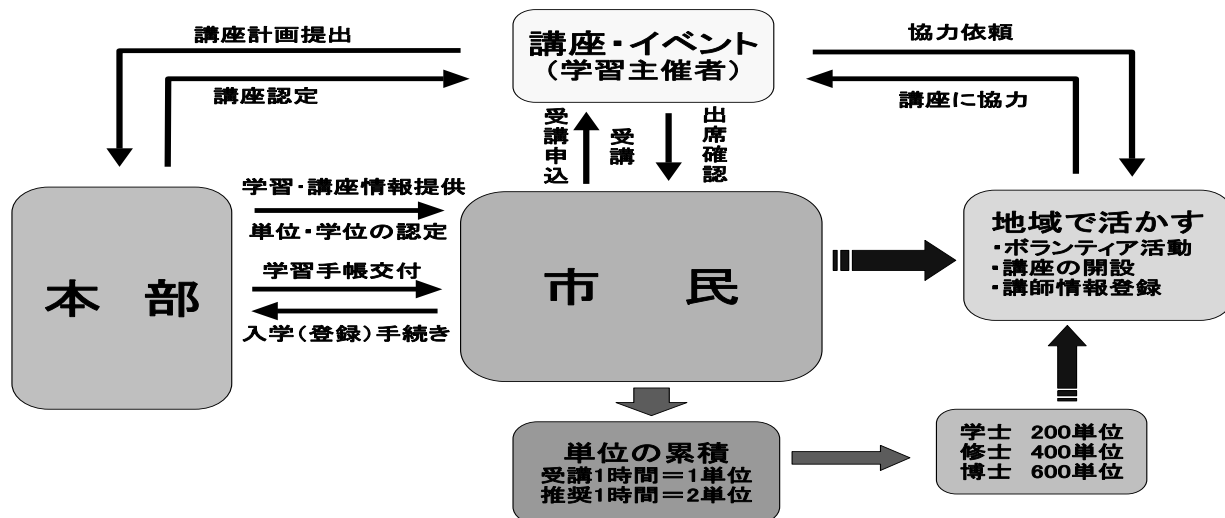
なさんが積み重ねられた学習の成果を、単位や学位を授与させていただくことにより、市として社会的に表彰するしくみであり、また、生涯学習のまちづくり（学習の成果をまちづくりに活かしていく人材の育成）を推進するしくみであります。

『くろまる』とは、大化の改新の時代に国博士として活躍した高向玄理（たかむこのくろまる）のことで、古代河内長野で勢力のあった高向氏の出身と言われており、本市の学びの象徴として市民大学の名称としています。

河内長野市民大学『くろまる塾』の特徴

- 市域すべてが「学びの場」であること
- さまざまな地域社会の問題・課題解決を目指すソーシャル・カレッジとしてのカリキュラムを目指すこと
- 市民の学びを活かす場をコーディネートすること

河内長野市民大学「くろまる塾」のしくみ



現在の状況

平成23年6月に『くろまる塾』開校式を行いました。実施日時点で600名を超える入学申込みがあり、開校式には480名もの出席をいただきました。開校式でアンケートをとったところ、「くろまる塾に入学した理由」は、【人生を有意義にするため】が1番多く、【教養を高めるため】、【趣味を豊かにするため】が続きました。また、わずか半年で200単位（1単位＝1時間）も取得されている塾生の方もおり、塾生の方の『くろまる塾』に対する大きな期待、学びたいという意欲を感じさせられました。

開校式の様子



くろまる塾に入学した理由 ※複数回答可

人生を有意義にするため	204人
教養を高めるため	174人
趣味を豊かにするため	168人
自由時間を活用するため	155人
社会の情報を収集するため	116人
交流をはかるため	96人

開校してから半年が経ち、講座も100を超える数になりました。認定講座には歴史講座や人権講座等の座学だけでなくグループごとに分かれて、ある課題について意見交換をするワークショップ形式の講座もあります。また、企業との連携講座では河内長野市内にある工場の見学や料理教室等、幅広い分野を認定しています。

現在の課題としては、約900名の塾生が在籍しており、年齢別割合は、60・70代が約75%、40・50代が15%、20・30代が約3%と20・30代の子育

講座の様子



料理講座の様子



て・若者世代が低くなっています。仕事終わりの時間帯で、20代・30代の子育て・若者世代にも興味を更にとっていただけるような講座開発などが必要となっています。

これからの取組 ～生涯学習によるまちづくり～

今後は講座だけでなく、学習を通して塾生同士がつながりを一層深めていただけるような交流会・グループ発表会等の開催をしていき、塾生のつながりを支援していきます。

また、『くろまる塾』は、現在策定を進めている第2次生涯学習推進計画の中心に位置付けており、「学習」を個人の「生きがい」や「自己実現」だけでなく、広く社会潮流の変化に伴う社会的な課題にも目を向け、地域の発展に役立てていただけるような人材を育成するとともに、様々な地域活動・公共活動に参加・参画していただけるような施策・事業等を充実させていくことにより、さらなる地域力の向上と協働のまちづくりを目指します。